



関西大学は2022年に大学昇格100年を迎えます



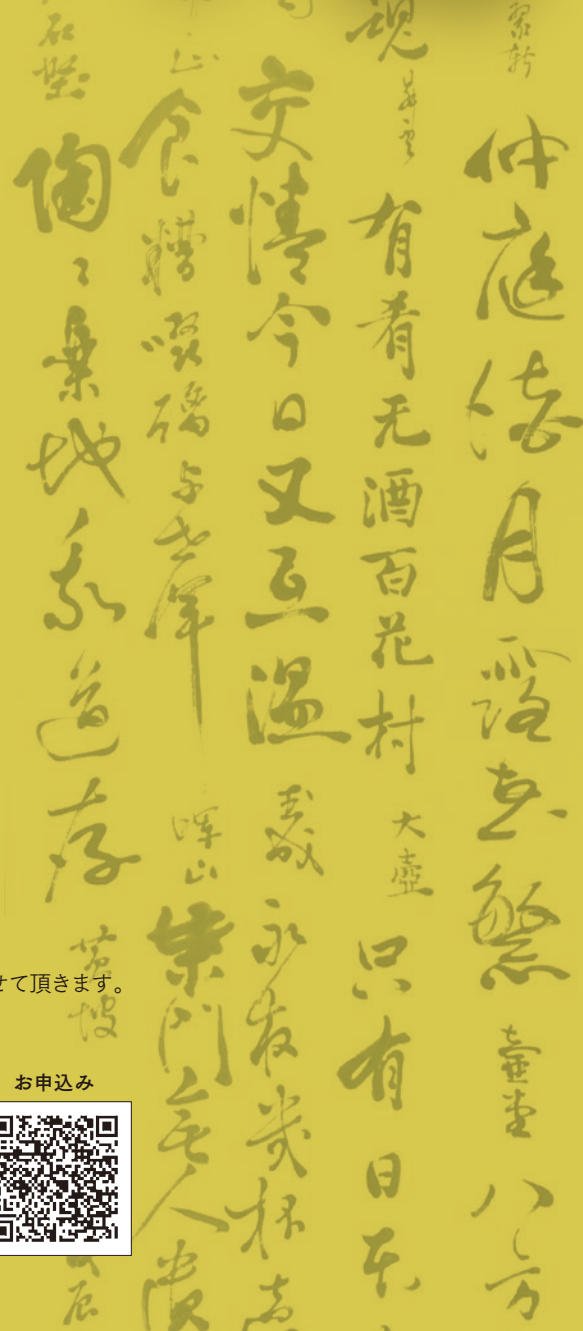
2021年

10/30(土) → 31(日)

関西大学
千里山キャンパス
以文館4階
セミナースペース

オンライン併用

東西学術研究所 創立70周年記念シンポジウム



[申込方法]

申し込みフォームよりお申込下さい。

個人情報につきましては、本学個人情報管理規程に則り適正に管理し今後のお知らせに使用させていただきます。

なお、申込フォームからお申込ができない方はハガキまたはFAX、メールにて

氏名(ふりがな)、住所、電話番号、参加希望日、参加方法、参加人数を明記しお申込下さい。

[申込締切]2021年10月25日(月)

[申込先]

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35

関西大学東西学術研究所

TEL 06-6368-0653(ダイヤルイン) FAX 06-6339-7721

E-Mail touzaiken@ml.kandai.jp HP www.kansai-u.ac.jp/tozaiken/

お申込み



1日目

10/30

10:00~17:00

学長挨拶 前田 裕 学長

開会挨拶 吾妻 重二 東西学術研究所所長

10:10~11:10 基調講演

陳 来(清華大学哲学系教授、清華大学国学研究院院長)

「清華大学の国学研究百年」(中国語、通訳つき)

11:15~12:15 基調講演

高宮 利行(慶應義塾大学名誉教授)

「漱石をめぐる江藤淳・大岡論争について」

12:15~13:15 昼休憩

13:15~14:15 言語交渉研究班

玄 幸子(研究員)「内藤文庫所蔵の敦煌文献写真資料について」

沈 国威(研究員)「『英華大辞典』(1908)と中国語の現代性」

14:15~15:15 都市遺産と宗教文化研究班

西本 昌弘(主幹研究員)「八角墳と南郊壇」

原田 正俊(研究員)「鎌倉・南北朝時代の禅宗と尼寺」

15:15~15:30 休憩

15:30~16:30 ユーラシア歴史文化研究班

藤田 高夫(研究員)

「漢代の部都尉をめぐる問題——中国王朝の辺境政策の一側面——」

吉田 豊(客員研究員)「ソグドから見たエフタル・匈奴

——ユーラシアの歴史を駆動する要因としての民族移動の一断面——」

16:30~17:00 コメント

2日目

10/31

10:00~16:30

10:00~11:00 西洋文学における信仰とフィクション研究班

ローベルト・F・ヴィットカンプ(研究員)「英語研究における『萬葉集』とAlexander Vovinの新英訳(2009年~)」

朝治 啓三(客員研究員)「フランシスカン、アダム・マーシュのシモン・ド・モンフォール宛書簡」

11:00~12:00 東アジアの思想と芸術の文化交渉研究班

二階堂 善弘(主幹研究員)「中江藤樹の鎮宅靈符理解とその影響」

陶 徳民(研究員)「開国期外交交渉のなかの尊厳問題——米国外交使節に対する日本と中国の叩頭強要事例について」

12:00~13:00 休憩

13:00~14:00 身体論研究班

小室 弘毅(研究員)、岡村 心平(客員研究員)

「22世紀の身体論とその経験~荒川+ギンズ建築における使用法とその実践~」

14:00~15:00 風景表象研究班

野間 晴雄(主幹研究員)「湿地(wetland)と原生自然(wilderness)の風景学」

蜷川 順子(客員研究員)「野生の風景表象——近世初期の西欧を中心に」

15:00~15:15 休憩

15:15~16:15 日本語文化学研究班

村田 右富実(主幹研究員)

「『万葉集』の「やど」・「には」・「その」・「しま」」

関 肇(研究員)

「横光利一と新聞小説——純粹小説の問題圏——」

陳 来

清華大学哲学系教授

1952年北京生まれ。北京大学哲学博士、清華大学哲学系教授、清華大学国学研究院院長。

1981年北京大學哲学系大学院修士課程修了、1985年北京大學哲学系大学院博士課程修了、朱子学の研究により哲学博士となる。1990年北京大學哲学系教授、2009年清華大学教授となる。張岱年、馮友蘭ら著名な学者に師事、中国思想、儒学史の研究で卓越した成果を挙げ、中国を代表する中国哲学史家として知られる。

他に國務院学位委員会委員、教育部社会科学委員会委員、全国中国哲学史学会会長、国際儒学聯合会副理事長、中国孔子基金会理事長、中華朱子学会会長、馮友蘭研究会会長などを兼ねる。1997年ハーバード大学客員教授、2004年台湾中央研究院歴史語言研究所訪問学者。1999年には本学東西学術研究所訪問研究員として滞在。

主な著作に『朱熹哲学研究』(中国社会科学出版社、1988年)、『有無之境——王陽明哲学的精神』(人民出版社、1991年)、『中国近世思想史研究』(商務印書館、2003年)、『朱子書信編年考証』(増訂本、2007年)、『仁学本体論』(三聯書店、2014年)、『近世東亜儒学研究』(北京大学出版社、2018年)など多数。



高宮 利行

慶應義塾大学名誉教授

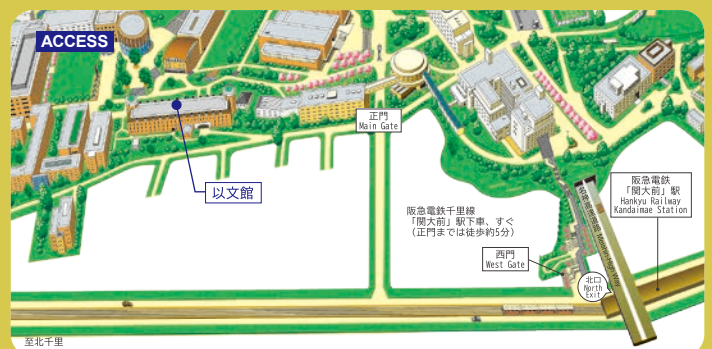
1944年東京生まれ。麻布中学・高校を卒業後、慶應義塾大学で経済学と英文学を学ぶ。後者の博士課程修了。慶應の英文科助手に採用後、ケンブリッジ大学英文学部博士課程に留学。帰国後は慶應英文科の助教授、教授、現在は名誉教授。

2017年ケンブリッジ大学サンダース書誌学講座リーダー。日本中世英文学会会長、国際アーサー王学会日本支部長、慶應愛書家協会会長など。ロンドン好古家フェロー、シェフィールド大学・グラスゴー大学名誉博士。専門はアーサー王伝説、書物史、書誌学。著書多数。

高校時代にはバドミントン部に所属し、プレーイング・マネージャーとしてインターハイに出場。慶應義塾大学では三田レコード鑑賞会に、ケンブリッジ大学ではエドワード・ケイペル愛書家倶楽部に所属。趣味は古書収集、ラグビー観戦、クラシック音楽鑑賞など。

Youtubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCIz0xjuQ2r45foRKxWlXeSg



※新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、オンライン配信のみにする場合があります。詳細はホームページにてご確認下さい。